



# 駒込病院

〒113-8677

東京都文京区本駒込三丁目18番22号

電話 03-3823-2101

## 病院の概要

がん・感染症を中心とする疾患に対し高度な医療サービスを行う専門病院であり、併せて、一般医療機関の要請による地域医療サービスも行う病院です。総合診療基盤に支えられ診療各科の連携のもとそれぞれの専門領域を尊重した診療を行っています。都道府県がん診療連携拠点病院、エイズ診療中核拠点病院、第一種感染症指定医療機関、造血幹細胞移植推進拠点病院等に指定され全国から多数の患者を集めています。当院は教育・研究活動の充実を図っていることも特徴です。臨床研修医制度による指定病院であるとともに各種の臨床研修の指定を受けています。その他、一般医療機関に対する研修の場の提供や都立病院に勤務する医療従事者、医療関係学生および看護学生等の実習・教育も行っています。院内ではカンサーボード等カンファランスを活発に行っているほか、臨床研究、学会活動および論文作成など、高度な医療水準の維持に努めています。

## ■ 診療科目

内科（消化器 呼吸器 循環器 脳神経 血液 腎臓 肝臓 膠原病 糖尿病・内分泌） 総合診療科 腫瘍内科 緩和ケア科 神経科 小児科 外科（食道 肝胆膵 胃 大腸 乳腺 呼吸器） 整形外科 リハビリテーション科 骨軟部腫瘍科 脳神経外科 皮膚腫瘍科 形成再建外科 腎泌尿器外科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 感染症科 麻酔科 歯科口腔外科 放射線科（診断部・治療部） 輸血・細胞治療科 内視鏡科 病理科

## ■ 基幹施設となる診療科（括弧内は連携施設病院）

- ・内科（大塚／墨東／多摩総合／神経／松沢／大久保／多摩北／荏原／豊島／NTT 東日本関東病院／新渡戸記念中野総合病院／湘南鎌倉総合病院／国立がん研究センター中央病院／東京医科歯科大学病院／東京大学医学部附属病院／東京健生病院／大泉生協病院／東京大学医科学研究所附属病院／複十字病院／青森県立中央病院／岩手県立中央病院／山形県立中央病院／魚沼基幹病院／国立がん研究センター東病院／東京ベイ・浦安市川医療センター／飯塚病院／静岡県立静岡がんセンター／東京山手メディカルセンター／大森赤十字病院／島しょ等）
- ・麻酔科（広尾／大塚／墨東／多摩総合／神経／小児総合／東部／大久保／多摩北／荏原／豊島／順天堂大学医学部附属順天堂医院／越谷市立病院／かわぐち心臓呼吸器病院）
- ・泌尿器科（大塚／墨東／多摩総合／小児総合／多摩南／多摩北／豊島／国立がん研究センター東病院／がん研有明病院／青梅市立総合病院／東京北医療センター／細部医院／島しょ等）
- ・病理科（広尾／墨東／大久保／豊島／東京医科歯科大学病院）
- ・放射線科（大塚／墨東／多摩総合／神経／小児総合／荏原／鳥取大学医学部附属病院／筑波大学附属病院／横浜市立大学附属病院／国際医療福祉大学成田病院）
- ・総合診療科（広尾／小児総合／東京健生病院／大泉生協病院／島しょ等）

## ■ 連携施設となる診療科（括弧内は東京医師アカデミーにおける基幹施設病院のみ掲載）

- ・内科（広尾／大塚／墨東／多摩総合／大久保／多摩北／荏原／豊島）
- ・外科（墨東／多摩総合）
- ・産婦人科（多摩総合）
- ・精神科（松沢）
- ・整形外科（多摩総合）
- ・麻酔科（広尾／大塚／墨東／多摩総合／東部／荏原／豊島）
- ・皮膚科（墨東）
- ・耳鼻咽喉科（多摩総合）
- ・放射線科（多摩総合）
- ・総合診療科（多摩北）

臨床研修委員会委員長からのひとこと



膠原病科部長  
瀬戸口 京吾

当院の専門臨床研修医制度は平成4年に開始され平成20年から東京医師アカデミーの研修コースに組み込まれ、平成30年度から日本専門医機構による新専門医制度にも対応しております。当院での専門臨床研修の特徴は、各診療科の総合基盤に支えられた最先端のがん診療、感染症診療を経験できることです。また学会活動や論文発表を活発に行っている指導医のもとで、様々な学会での発表や論文作成の機会にも恵まれています。がん・感染症の病院ではありますが、当院から発信された、IgG4関連疾患症例も十分に経験できるため、がん・感染症以外の診療部門での研修も充実しております。本人のやる気次第でいくらかでも可能性の広がる場を提供できますので、がん・感染症に興味のある方、それ以外に興味のある方もお待ちしております。

シニアレジデントからのひとこと①



病理科  
2年次  
内藤 裕

私は駒込病院病理科にて後期2年目の研修を行っています。初期研修では当院内科コースで研修させていただき、引き続き研修を行っています。当院は、がんセンターという名前の通り、腫瘍の症例が多く、癌から血液疾患、希少な肉腫まで多彩な検体について勉強することができます。当院での病理研修の特徴としては、多彩な腫瘍の検体を勉強することができることと、指導をして下さる先生方の人数も多いことが挙げられます。指導医の先生方に相談しやすい雰囲気、日々多くのフィードバックをくださいます。さらに、現在病理科に在籍する後期研修医は現在4人と多く、日々新しく知った知見について互いに相談・共有することができる環境です。また、病理専門医申請にあたって解剖例が必要ですが、当院病理科は他院病理科との連携を結んでおり、複数の病院で病理解剖をすることができるため、解剖についても多彩な症例を数多く経験することができます。病理専攻を考えていらっしゃる方は、是非1日見学いらして下さい。

シニアレジデントからのひとこと②



腫瘍内科  
4年次  
森田 侑香

私は初期研修から駒込病院で研鑽を積み、1年の産休・育休を経て、引き続き腫瘍内科で後期研修を行っています。

当院での研修の特徴は、高い専門性、豊富な学術活動、ローテーションの自由度です。がん・感染症センターという名前の通りがん領域では十分な症例数を経験でき、がんゲノム医療やがん免疫遺伝子治療といった最先端の治療に携わることができます。診療データを積極的に蓄積しているため統計解析を行ったり、その結果を実臨床に応用する過程を経験したりすることが豊富な学術活動にも繋がっています。また、感染症領域や、病理、放射線診断・治療、緩和ケアなどがん診療に欠かせない分野を深く学ぶことができるのも魅力の1つです。一方で、東京医師アカデミーとして連携病院での研修を選択できるため、新専門医制度でも必須な非がん領域の研修も充実させることが可能です。

ぜひ一度見学に来て、自分に合った研修ができるか確かめてみてください。